

## 岩手町におけるICTの活動について（高原野菜チーム）

今月は、岩手町駐在が実施しているICT（経営管理システム）を活用し、手作業による記録からコンピューターによるデータ管理の導入による農業の生産性向上に活かす取組みについてご紹介します。

### 1 取組みの背景

大規模に経営している土地利用型野菜の生産農家は、雇用により労働力を確保していますが、全国的な少子高齢化により、今後、これまでのような人材の確保が難しくなることが懸念されています。また、生産農家の収益を安定的に高めるため、一層の単収向上等による収益向上や低コスト化を進める必要があります。

これらを解決するために、普及センターではICTをツールの一つとして活用し、農業の生産性向上に活かす取組を実証しています。なお、実証は、岩手町内で大規模にキャベツを栽培している生産者にモデルになっていただきました。

### 2 これまでの主な成果

ICTを活用し、ほ場ごとの単収や農薬コストを分析のうえ、

(1) 低単収ほ場の収量向上、(2) 農薬コストの低減の2点に取り組みました。

#### (1) 低単収ほ場の収量向上

当地域のキャベツ単収は、収益を考慮し、5t/10aを目標としています。通常、単収実績は、生産者の所有する全ほ場からの収量をもとに算定していますが、モデル農家全体の単収の底上げを図るためにICTの活用によりほ場ごとに単収を把握しました。

この結果を踏まえ、単収が目標を下回る要因を分析し、病害発生抑制のために土壌改良資材を施用するなど、そのほ場に適した具体的な対策を講じました。この結果、単収はほぼすべてのほ場で大幅に増加し、収量の全体の底上げにつながりました。

#### (2) 農薬コストの低減

防除に要した農薬費をほ場別に分析した結果、県のキャベツの生産技術体系では、農薬コスト2万円/10aの目安がありますが、実証農家の全ほ場の平均コストは3万円/10aかかっていました。このため、効果が重複している農薬の散布を見直すなど、当該生産者に適した防除暦を作成のうえ、特に農薬コストがかかっていたほ場に着目し、防除しました。この結果、農薬コストが削減し、収益向上につなげることができました。



### 3 今後の取組み

ICT技術は、これまでの経験と勘によって行われた農業から、具体的な数値に基づいて行われる農業に変わるきっかけとなるものであり、生産性を高めることにつながるほか、若手や次世代への技術のノウハウの継承に役立つなど、強力なツールになるものと期待しています。

また、得られたデータは、今後導入が見込まれるGAPなどの生産実績情報として利用が可能となります。

普及センターでは、技術研修会などの場において得られた実証成果を広く周知するとともに、関係機関と連携し土地利用型野菜の生産性向上の取組を支援していきます。



メーカー主催の若手生産者ICT研修会の様子

## 平成30年度認定「農業農村指導士」と「青年農業士」の紹介

「農業農村指導士」「青年農業士」は、地域農業発展や農村地域活性化に意欲的に取り組んでいる優れた農業者を市町からの推薦を受けて岩手県知事が認定し、地域で指導や実践活動を担っていただく方々です。今年度は、農業農村指導士5名、青年農業士1名が認定されました。

### <農業農村指導士>

**名前：**田村 紀彦 **地区名：**八幡平市西根  
**品目：**酪農、和牛繁殖、飼料作物、牧草  
**抱負：**和牛受精卵移植を活用した酪農と和牛繁殖の複合経営を行っています。単なる規模拡大ではなく、最新の技術を積極的に活用し、安定した経営を目指して取り組んでいます。  
農家の設備投資と労力の軽減、市内の牛の増頭や担い手育成の支援強化により新規就農者が参入できるように、関係機関と協力し、自分の役割を果たしていきたいと考えています。

**名前：**星野 俊博 **地区名：**葛巻町葛巻  
**品目：**酪農、飼料作物、牧草  
**抱負：**“健全経営”をモットーに、低コスト粗飼料生産に取組み、適正規模頭数を飼養するなど、効率的でゆとりある経営を目指しています。  
牛群検定により牛群能力を把握し、飼料給与や搾乳衛生管理など管理を徹底することで病気の発生を抑え、収益性の向上を図っています。地域リーダーとしての役割を果たし、覚悟と気概を持って取り組んでいきます。

**名前：**今松 貢 **地区名：**岩手町一方井  
**品目：**露地野菜  
**抱負：**環境への配慮と良質な土づくりを心がけ、消費者に安心・安全な農作物を届けられるよう、日々研鑽を積み取り組んでいます。  
野菜生産のみならず、他作目の担い手との交流も深め、これからの時代に対応した経営のあり方等について、地域農業者と互いに学び合い、産地や経営基盤を継承していけるよう、後進の育成にも力を注いでいきます。

**名前：**古川 友美 **地区名：**八幡平市松尾  
**品目：**酪農、和牛繁殖、牧草  
**抱負：**牛群の健康維持、乳質を改善するための技術を積み重ね、安心安全な生乳づくりを心掛け、実践しています。地域の空き牛舎や耕作されていない水田の活用など、地域の経営基盤が荒廃しないよう取り組んでいます。  
畜産に携わる女性の仲間との交流・活動も大切に、次世代に安心して繋いでいけるような経営をしていきたいと考えています。

**名前：**上野 勝俊 **地区名：**葛巻町葛巻  
**品目：**酪農、飼料作物、牧草  
**抱負：**借地等を活用し、粗飼料自給率の向上を図り、飼料価格の影響を抑えるとともにコスト削減に取組み、効率的でゆとりある酪農経営を実践しています。  
牛の引き方を学ぶ「リーディングスクール」や農業体験受入などを行っており、次世代の子ども達に農業の魅力、酪農の楽しさを広める活動を積極的に行っています。

### <青年農業士>

**名前：**松村 洋 **地区名：**八幡平市大更  
**品目：**水稻、ほうれんそう、飼料作物（飼料用米）  
**抱負：**「あきたこまち」の特別栽培で付加価値の向上を図るとともに、飼料用米では直播栽培方式を導入し、コスト低減に努めています。  
ほうれんそうでは、新たな出荷規格を市場に提案するなど、収益性の高い販路開拓にも取り組んでいます。将来的には、両親と一緒に家族経営で法人を立ち上げ、地域の農業を守っていききたいと考えています。

## 3月の予定について

### ◎農業女子ジャンプアップ講座 第5回

日時：平成31年3月13日（水）10:00～14:30

場所：八幡平市農民研修センター 2階 第3研修室、調理室

内容：(1) 体験「安代りんどう染め」 講師：安代りんどう工房  
(2) 若手女性農業者活動紹介「(仮題)私と農業、そしてこれから」  
事例紹介者 北田歩美氏（盛岡市 りんご工房きただ）  
(3) 情報交換会

申込先：普及センター（TEL 0195-75-2233）までご連絡ください！

※当日は体験料・お弁当代として2,540円いただきます。

